

IFOAM-Organics International 国際有機農業運動連盟 1972 年設立 127 개국 800 団体参加 (当初の International Federation of Organic Agriculture Movements を、2014 年に改称)

P G S 参加型保証システム Participatory Guarantee System

【IFOAM の PGS】訳文

有機農業の参加型保証制度 (PGS)

—共通の理念とビジョン—

世界にはいろいろな参加型保証システム (以下、PGS と略す。) があり、農家と消費者に役立っている。方法論や手順は異なるが、共通の原理が、国や大陸を越えて明らかに存在する。以下に概略する要素や特徴によって、私たちは共通のビジョンを持つことができるだろう。だがこれは、既存の、または将来の PGS の取組みを画一化したり、“正常化” するために指導するためのものではない。

これらの取組みの活力源は、まさに PGS を使う農家や消費者自らが創り出したという、その事実にあるからだ。各々の PGS は、個々の地域、地区、市場(マーケット) に生まれた地域固有のものである。

PGS の基本的な要素や特徴について述べた本文書は、各地の PGS に共通する諸要素を述べることで、その考え方や方法には共通性があることを明らかにするものである。

IFOAM 「PGS 作業グループ」の使命

「PGS 作業グループ」(訳注・IFOAM は 2004 年に PGS 作業グループを発足させ、PGS について検討を進めてきた。) は、世界中の PGS を発展させるために助け、励ますであろう。

私たちは、PGS のもつ基本的な要素や特徴を突き止め、統合化すると同時に、PGS が機能するよう、多様な方法に対して開放的で包含的な態度を持ち続けるつもりである。

PGS の哲学は、有機農業の理念から生まれた

PGS は、先覚的な有機農家が導きとした有機農業の理想をそのまま吸い上げたものである。PGS の取組みは、化学合成農薬・化学肥料、遺伝子組み換え作物を用いない、根本的に生態系にやさしい農業を求め、長期的な経済的持続性と社会的公正というゆりかごで農

民や労働者を支えるものである。それは、基本的に地域（ローカル）で、直接取引に焦点を当てて、地域コミュニティづくり、環境保護、地域経済支援に資するものである。

PGS の哲学（根本価値）

有機農産物を求める消費者に信頼性の高い保証を与える点で、PGS は第三者認証システムと目的を共有している。両者の違いはアプローチの違いによる。名前が示すとおり、PGS では農民及び消費者が認証過程に直接参加することが奨められるだけでなく、むしろ要請される。PGS が使われる小規模農場や地域の直接取引においてこそ、このような直接的参加はまさに実現可能となる。関係者が積極的に参加すれば、彼らの権限と責任が強まるのである。

このためには、PGS の取組みは生産者のみならず消費者の知識・能力開発を重視する必要がある。こうした直接的参加によって PGS の取組みは文書作成・記録保存の面倒を少なくすることができる。これは重要な要素である。なぜなら、PGS の取組みは、まさに小規模農家を有機農業に引き入れるためでもあるからである。既存の認証制度は、認証手続きに従っていることを“農民が証明すべきだ”という思想で始まるのに対し、PGS は、その根底に農家への信頼を置いた“信頼に基づいたアプローチ”をとっている。その信頼性は、徹底した透明性・公開性で成り立ち、位階制（ヒエラルキー）や行政の関与を最小化した環境で維持されるものである。

重要な「要素」 Key Elements

1. 共通ビジョン（目標・位置付け）の共有

PGS の基本的強さは、その取組みを導くのは農家と消費者であるという基本原理を持ち、そのようなビジョンを明白に共有していることにある。実際の参加の程度は PGS の取組みによって多様ではあるが、それがなぜ、いかにしてそうなのかが実際にわかるからこそ、PGS は伸びているのである。

2. 参加型

参加型保証は、有機農産物の生産と消費に関心をもつ人々による熱心な参加を前提とした方法論に基づいている。有機農業の原理と規範が、これに寄与するすべての関係者—生産者・コンサルタント・消費者—に適用されるのである。したがって、有機農産物の質に対する信頼性は、参加の賜物なのである。

3. 透明性

農家を含めすべての関係者は、この保証のメカニズムがいかにして働くのか、意思決定はいかになされるのかを正確にわかるようにしておかななくてはならない。とはいっても、どんな詳細なことも全員が知っていなければならないという意味ではない。この制度がいかに機

能するかについて、全員が基本的理解を持っていけばよいのである。認証の意思決定はどのようになされるかという基準、とりわけ、ある農場が認証されない場合、その理由は何かが、人々によくわかるようになっていくべきである。したがって、PGS に関する資料がなくともならず、それはすべての関係者が入手しやすいことが必要である。

PGS の実施により得られた生産者の営業上微妙な情報やプライバシーは秘密保持されなければならない。だが、このような秘密保持は、透明性の原理を緩めるものであってはならない。それは透明性と矛盾するようにみえても、一方のプライバシーや営業秘密と、他方の透明性を目的とした情報アクセスとの間は、はっきりと一線を画すべきである。

4. 信頼—“誠実さに基づくアプローチ”

PGS の支持者は、農家は信頼できるし、有機認証システムはこの信頼を表現すべきであるという信念を固く持っている。それは、有機農家の信頼に基づく有機性保持を確かなものにするさまざまな社会的文化的な管理・監視メカニズムを地域社会は有しているのであり、そのような地域の能力を用いて、これが信頼できるものであることを示すのである。このように、それぞれの地域のもつ固有の質的・量的なメカニズムによって信頼に基づく有機性が保持されていることを図ったり、表明したりすることが認知され、尊ばれるのである。これらの要素は、有機システムに不可欠なものである。

5. 永続的な学習過程

たいていのPGS は、単に認証を与えるにとどまらず、地域の持続性と有機的発展を支える手段・メカニズムを与えることをめざしてきた。これによって、農家の生活と地位は強められる。有機農産物の認証に生産・消費に関わるすべての関係者が参加することによって、その認証をする過程を通して、彼らが一定の知識を得ていくことは重要である。農家・コンサルタント・消費者が参加して有機農業の原理原則・規則に適合しているかどうかを苦心して照合・検証していくことは、有機農産物に信用をもたらすだけでなく、その過程自体が永続的な学習となるのであり、地域の能力を発展させるものとなる。

6. 対等性

対等性とは、権限を分かち合うことを意味する。つまり、生産物や生産加工の有機的品質の検証を少数者の手に集中しないことである。PGS の手続きに参加する人々はみな、生産物や生産加工の有機的品質の確立に対し、同じレベルの責任と能力を持つ。

PGSの特徴 **Key Features**

1. 規範（基準・規則）は、民主的な PGS の過程を経て関係者によってつくられるものであるが、これは常に、一般的に認められている常識的な有機農産物規範の構成要素に沿ったものである。こうした規範は、有機農業に特有な創造性を刺激すべきものであって、阻害するものであってはならない。

2. 草の根組織—PGS は、関係者すべての積極的組織化に基づいた社会的なダイナミズムの所産とみるべきである。
3. PGS は、小規模農業にふさわしい。なぜなら、この取組みの参加型性格と対等性の構造によって、認証メカニズムはより適正で費用が安くなる。そしてまた、実際、小規模農家の支援を求める消費者を対象とし、そうした消費者が行い、進めるものだからである。
4. その原理と価値は、農家の生活と福祉を高め、有機農業を推進する。
5. 文書管理のシステムと手続き—農家には最小限の文書作成作業が求められるが、それは、有機農家が有機農業をしていることと生産物の有機性保持を示すものであることが求められる。その方法は、PGS によって文書で明らかにされるべきである。
6. 定められた基準を農家が順守していることを検証するメカニズム—これは、参加と組織化に刺激を与え、すべての関係者に対し永続的な学習過程をもたらす。
7. 有機農産物を生産し、有機農家として保証された農家を支えるメカニズム—それには、現場アドバイザー・会報・農場訪問・ウェブサイトなどがある。
8. PGS は、最低限の文書を持つべきである。たとえば、基準・規則に同意することを示した農家の宣誓書など。
9. 有機の地位の証明となるシールやラベル表示をする。
10. 基準を順守しない農家に対しては、あらかじめ明瞭に規定された規則により対処すること。例えば、データベースに記録する、何らかの方法で公開するなど。

【翻訳についての注記】 日本有機農業研究会訳。『土と健康』（2010年8・9月合併号、日本有機農業研究会）に掲載したものを、その後修正。原文は、Participatory Guarantee Systems: Shared Vision, Shared Ideals、2010年7月当時、IFOAM - Organics International のウェブサイトに掲載されていたもの。

（久保田裕子記す 2022年1月）